

# 消防団

1月6日(日)、  
新春の晴天の下、  
今年も八百津町消防  
出初式が開催されま  
した。



出初式は、江戸時代  
からある日本の伝統文化。  
今でも新春行事のひとつとして行わ  
れています。

今年の出初式は、消防団員265人  
が参加し、優良消防団員表彰や市中  
行進、一斉放水などが行われました。  
出初式は、地域のみなさんが消防  
活動を知ること、火災予防意識を  
より高めていただくことを目的とし  
ています。

今回はシリーズ防災特別編とし  
て、地域を守る身近な存在である、  
消防団についてお話しします。

昨年は7月の豪雨災害や、台風21  
号、北海道胆振東部地震など、全国各  
地で地震や風水害が多発しました。こ  
うした状況のなかで、もしもの時に頼  
りになる、地域に密着した防災組織の  
必要性はさらに高まっています。



平成31年消防出初式の様子

## 《消防団とは》

消防団は、各市町村に設置され  
た機関で、消防署と連携を図りな  
がら消火活動や防火啓発活動など  
行っています。

地域の方がボランティアで参加  
し、災害時などに地域のために活  
動しています。そして、地域に密  
着し、町民のみなさんの安心・安  
全を守るという重要な役割を担っ  
ています。

昨年9月に発生した台風21号で  
は、町内においても、多くの世帯  
で断線による停電や断水が起こ  
り、大きな被害を受けました。福  
地地区では、第5分団が巡回し、  
安否確認や水の配布を行いました  
た。多くの方が、心強く感じたこ  
とでしょう。

しかし、全国の消防団員数は  
年々減少傾向にあります。そし  
て、八百津町においても毎年新入  
団員の確保に苦慮しているのが現  
実です。



## 《活動内容》

団員は、本業としての仕事をも  
ちながら活動しています。

火災発生時の消火活動、災害時  
の警戒、行方不明者の捜索など、  
消防団長の招集命令に応じて出動  
します。

また、春と秋の火災予防週間期  
間中や年末に行われる夜警も、火  
災予防を啓発するための大切な活  
動です。

普段は緊急時に備えた訓練や点  
検を行うほか、実際の災害を想定  
した夏季訓練や、花火大会の警備、  
防災訓練での指導、産業文化祭で  
の消防団PR活動など、その活動  
は多岐にわたります。

